

三 宮 十 五 郎 議 員



中・長期展望を持ち行財政計画の推進を

問

中・長期展望を持った行財政計画を尋ねる。

(1) 市は一般会計の現金はほぼ無利息の決済用普通預金に保管している。愛西市は定期預金や国債等も運用し、19年度900万円を超える運用利息を確保した。

一層の努力と改善を図ってほしいがどうか。

(2) 国・県補助等を活用した一体的な取り組みをすべきではないか。

(3) 総合的な判断ができる財政に強い職員の育成に尽力してほしいがどうか。

補助金、起債を調査研究する

答 会計管理者

(1) 以前はほとんど資金運

用していない状況だった。

19年度以降は基金の個別枠を取り払い、20年には資金管理、運用基準の見直し等を行った。適切な運用管理ができる体制を整え、これを今後の体制としていきたい。

答 市長

(2) 国・県補助金の交付制度のあり方、事業への起債（借金）の限度額も調査、研究し、事業計画を速やかに実施しなければならない。

(3) 私も（必要性を）強く感じている。職員の中に財政に強い者もいる。さらに自己啓発させ、育成していきたい。

下水計画に修繕費がない理由は

問

整備中の下水道について尋ねる。

(1) 下水道の借金返済を、国が交付税負担する支援が、基本的に今は受けられない見直し【1】になっている。

さらに市の計画には、運転管理費と借金返済費は入っているが、施設の更新や修理費は抜け落ちている。

本来あるべき財政見直しを示すことを強く求める。



約165億円の返済額の大部分を国負担で賄う予定だったが、国の交付基準以上の財政力を有する自治体はこの措置が受けられず、市は現在、この基準以上の自治体である。

(2) 水道管よりも下水道管は傷みが激しい。改修費を使用料で持つか、一般会計でどれだけ負担するかは避けて通れない問題ではないか。

単年度の維持管理対応で実施

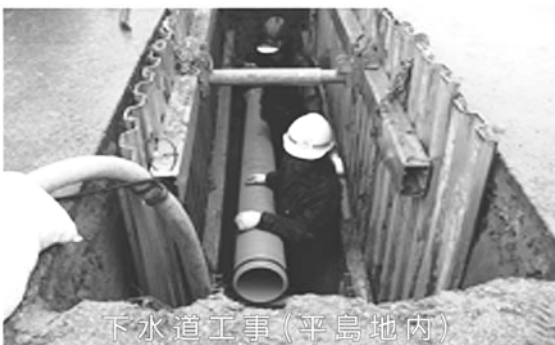
答 開発部長

(1) 事業は非常に広範囲で、どの施設も常に段階的な整備を実施しており、部分的な改築等は、単年度ごとの維持管理を含めた対応で実施ができると思う。

計画で供用開始から約45年後には収入が上がることから、順次これを改築費等に充てることが可能である。

答 市長

(2) 先進市町の例を参考にし、建築費プラス減価償却をしっかりと考え、進めたい。



下水道工事（平島地内）